

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>	<b>13</b>
<b>合計</b>	<b>100</b>

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム ケアクオリティ 桜の詩
(ユニット名)	2階
所在地 (県・市町村名)	静岡県清水区船越町13番地
記入者名 (管理者)	後藤克恵
記入日	平成 21 年 8 月 28 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	桜の詩基本理念を職員一同が共有し、日々話し合い支援している。職員全員で話し合い新しい理念をつくっている。	地域の中で笑顔の絶えない明るい毎日が送れるよう継続し取り組んでいきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	会議やケース検討会を通し確認している。またホールに掲示している。	質の高い介護を心掛け職員同士、意識向上に努めている
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	運営推進会議、家族会を開催し、地域や家族の方々に説明している。玄関、ホールに掲示している。	定期的にホーム便りに掲載し理解頂けるよう努めている
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	隣接している公園へ散歩に訪れる人が多いので、こちらから進んで挨拶するように心掛けている。また散歩や外出の機会を増やしている。	トイレの利用、施設見学など気軽にたち寄って頂ける環境作りに努めていきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域の行事に参加し努力している。(自治会に入会、清掃、ビンカン当番、地区のお祭り、敬老会、防災訓練等)	左記継続実行中

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	施設内の畑で育てている野菜や花などをお配りたいと話していたが、近隣は農家である。		話し合いを続けていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票は職員全員で作成し外部評価の意義を理解しサービスの向上に努力している。また評価結果を真摯に受け止め会議等で話し合い改善に努めている		左記継続実行中
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を偶数月の第4土曜日に定例とし、地域住民、家族代表、地域他職種にサービスの実施を報告し、会議での意見を参考にサービスに導入できるよう努力している		左記継続実行中
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	講習、行事を通じ連携を図っています		左記継続実行中
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要な入居者に対しては、入居後活用できるよう支援している。職員全員が制度を理解できるように本社研修や、ホーム内での勉強会を実施した		左記継続実行中
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	どんな事柄が虐待にあたるのか定例会等で話し合い、専門職であること自覚し、入居者と接することで防止に努めている		入居者様の尊厳を重んじ、特に見過ごされがちな言葉の虐待には気をつけています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族に対して契約書に添って解り易く、また疑問や不安を解消していただくように説明し納得されている	入居のお試し期間を設け、ご家族から情報収集をしている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎日の生活での不満、苦情、要望などは直接職員や管理者に言い易い環境、雰囲気作りに努めている	玄関ホールに“ご意見箱”を設置し直接意見を伺うようにしている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族に生活の様子、診療情報、行事予定を月次報告書として個別に、預かり金報告並びにホーム独自の“桜の詩通信”(おたより)を月初に毎月送付している。また面会時には近況報告を、変化時には随時連絡をさせて頂いている	個別の月次報告書、預かり金報告、桜の詩通信は今後も送付を継続していく
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時などご家族と直接話す機会を設け意向等を伺い、家族会や運営推進会議の開催し、ご家族の声を取り入れるよう心掛けている	定期的に家族会を開催
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会、検討会等に管理者も出席し職員の意見や提案を聞く場を設けている	管理者との職員面談を継続して行う
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化に柔軟に対応できるよう勤務調整を行っている	通常、日中は3名の職員で対応している。行事開催時には柔軟な対応に努めている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は本社と連絡を取り、また職員と随時接することで要望、不満を聞き離職や移動を防ぐ努力をしている	入居者様に対して不安や不信感を与えないような信頼される関係作りに努めている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職者全員が社内研修を受講している。外部・内部研修に参加機会を設けホーム内で勉強会を開き、介護に対するスキルアップに努めている	今後も更に職員の能力・意識向上を目指し、内部・外部研修で勉強を続けて行きます
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議開催通知を送付し参加を呼びかけている。施設見学や催事に出席し互いに協力し合いサービス向上に取り組んでいる	定期的に会議を行い他業者との交流を通じ情報交換を続け、催事への参加・招待を行います
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の希望に合わせた公休・有給が取れるように努め、休憩時間についても話し合いをしている。	休憩時間の環境づくりを考えています
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	内部・外部研修を行う事で職員個々の知識の向上と共にスキルアップを心掛けている。定例会には毎月テーマに添って勉強会を開催している	職員を順に外部研修に参加を心掛けています
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人の生活の様子を拝見させて頂き、不安感を取り除くため入居前の面談を行っている。本人の気持ちを理解し、信頼して頂けるよう努力を心掛けている	職員間で新入居者様の情報を共有出来るよう話し合いをしている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の相談から入居決定まで施設見学や幾度かお話しさせて頂き、快く入居頂けるよう努めている	互いに情報や意見交換をお願いしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族のお話を伺い状況の把握に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	施設見学時には他入居者と馴染んで頂けるよう、一緒にお茶を飲んだり、入居後は雰囲気慣れて頂けるよう職員が間に入り支援します、又ご家族とも話し合い支援します		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々を一緒に過ごす事により悲しみや喜びを共有し寄り添い、支えとなっている		会話を増やすよう、常に笑顔で声掛けを心掛けています
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	催事等ではご家族に参加、協力をお願いし、楽しい時を過ごして頂き、職員との交流にて共に支える姿勢をとっています		気軽に意見を伺える関係作りに努めます
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時には、ご家族でゆっくり過ごして頂けるように居室・ホールを自由に使用して頂き、面会し易い環境づくりに心掛けています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	季節毎の挨拶状や電話など、ご本人の希望に対応しています。買い物や地域の行事などで交流の機会を作っています		連絡を取り、面会の機会をつくっている
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係を壊さない配慮が、さり気なく出来るよう心掛けています		言葉遣いに気をつけ笑顔で対応を心掛けている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	対象となる方がいませんが、季節の挨拶状を送ります		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様の要望を個別に対応できるよう心掛け、安心・安全に楽しく生活できるようにしています		計画作成時に、ご本人より意向を聞き、プランに組み込むようにしている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族より、これまでの生活を詳しく伺い、他業者より情報提供を依頼し把握に努めている		情報収集で得た内容をカンファレンスで確認し合っている
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録や毎日の申し送り、定例会、アセスメント表を活用し現状の把握に努めている		介護記録の記入を徹底し、職員一人ひとりが入居者の状態を把握できるよう努めています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成をする際、ご本人・家族・職員同士が話し合いプランに取り込んでいる		話し合いの機会を作りカンファレンスを行っている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員・家族で話し合い対応の見直しや、計画の見直しを行っている		職員同士が相談や意見交換をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様日々の様子や会話等、誰が読んでも解るような記録のを心掛けている。職員同士の連絡ノートを活用し、情報を共有している		左記継続実行中
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様の要望を個別に対応できるよう心掛けている		左記継続実行中
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署の指導の下、防災訓練を行っている。地域の防災訓練にも毎年参加しています		地域住民との密着のために継続し参加呼びかけをする
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医師の許可を得、訪問マッサージを施行されています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に行われている運営推進会議の参加依頼やセンター主催の講習会等に参加している		今後も継続的に情報交換を行います
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月1回ホーム協力医の往診があり、主治医の別や受診科目により職員・ご家族で対応している		左記継続実行中



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族との話し合いの機会を作り、主治医との相談や専門医の紹介、受診同行など行っています		病状観察の継続、情報収集に努めます
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回の訪問看護師による健康管理。緊急時の対応指導や日常の健康管理指導等をお願いしています		今後も入居者様の健康管理や職員の相談・指導を受けて向上していきたい
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、入院中も病院関係者との情報交換を積極的に行っている		退院受入れ準備を整え待機しています
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、検討会等で職員・ご家族で話し合いをしている		常に健康管理に注意し、ご家族の意向に添えるよう話し合いの機会をつくります
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連絡を密に行い介護指導や往診の協力をお願いしている		職員の勉強会等行っていきたい
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に家族や医療関係者の方々と連携し、場所の変更による混乱に対処している		左記継続実行中

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様の自尊心を傷つける事の無い様、言葉遣いや、対応に注意しています。入室の際は必ず声掛けをしています	左記継続実行中
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様の希望や思いを出来る範囲で支援できるよう努めている。決定事項は本人の意思に任せている	入居者様一人ひとりと日々の生活の中で会話し、希望を聞き取るように努めたい
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務優先の現実は切り離せないが、その日の勤務職員が話し合い、安全を考慮し出来る範囲の希望にそって支援している	業務内容に余裕を持ち入居者のペースに合わせた対応を心掛けたい
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	大部分の方が訪問美容を利用していますが、家族が付添われる方もいます。外出・行事などの洋服選びやお化粧などの支援をしています	左記継続実行中
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日や行事、季節に合わせたメニュー作り、栄養や体調に配慮して調理しています。準備や片付け、食器拭きなど入居者様と一緒にしています	左記継続実行中
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物に同行したり、希望の商品を職員が購入しています。誤嚥、健康管理のため見守りの支援を行っています	左記継続実行中

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中と夜間の排泄リズムを把握し、リハパン・パッドの使用検討・調節を行っている。行動の様子観察や排泄記録表を活用して個々の排泄パターンを把握し声掛け、誘導を行っている		便秘者を常に把握し、解消できるよう工夫している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個々の日程を考慮し基本的に入浴日を決めているが、希望や体調により変更している。夏期にはシャワー浴を多く取り入れている		突然の状況の変化にも対応している
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中と夜間の様子を申し送り確認している。室温の管理や個々の嗜好による飲み物など安眠できるよう支援しています		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・片付け、掃除、洗濯物を干したり畳んだり、出来る事を職員と共に楽しみながら行っている		左記継続実行中
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人管理の小額の所持金は置き場所など見守り支援している。ほとんどの方がホームで管理を行っている		外出時など個別に支払いなどをお願いしている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やホームの買い物のお手伝い、少人数での外食やドライブの機会は設けている。		左記継続実行中
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご本人の買い物にデパートや外食に月に1度は外出の機会を計画している。個人的には、お寺などに付添っている。清水港に入港した船やお雛様などは毎年出掛けている		左記継続実行中

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	季節に応じた手紙やハガキなどをご本人が書いています		左記継続実行中
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間などの規制なく自由に面会に来て頂いている		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	話し合いを行い、安全を心がけ支援している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠しています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は五感を使い見守りをしている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険がない様見守りしている。ご本人と話し、保管場所を決めて管理している		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故対策委員会が中心となり報告書事例やヒヤリハットなどを参考に職員全員が話し合い事故防止に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命・救急法の講習会に参加している。訪問看護師に相談や指導を受けている	○	講習会で勉強した内容を復習する機会を設け、知識向上に努めたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導の下、定期的に防災訓練を行っている。ホーム独自の訓練と毎日の点検を実施している。		定期的に訓練を行っている。勤務に入る前には消火器や防災用品の位置の確認を習慣付けている
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居時、面会時、また状況が変化した時などにそれぞれに応じたリスクについて説明している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェック、様子観察、記録、申し送りの徹底を心がけている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に服薬中の薬ファイルを作成し、職員全員が把握できるようにしている。服薬は一包化し職員・入居者様にも扱いやすくなっている		誤薬防止マニュアルを作り、職員全員が声を掛け合い確認をしている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取表を活用し個々に水分量を調節している。嗜好を考え飲み物を提供し、適度な運動を心掛けている		医師・訪問看護師に相談し、助言を受けている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自分で出来る方は声掛けし、見守っています。介助が必要な方には毎食後職員が行っています		歯科医の定検診をうけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態に合わせて摂取量などを調整しています。季節に合った献立作りや、個々に合わせた調理方を心がけ、摂取量は記録しています	○	バランスの取れた献立作りをしたい
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがある。感染症対策委員会を中心に時季にあった勉強会を行っている	○	勉強会の開催回数を増やしていきたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾・まな板等は随時、食器類・口腔ケア用品は日を決めて消毒している。新鮮で安全な物を選んでいる		食中毒に気をつけ調理や管理をしている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたり、ベンチを置いて良い環境づくりをしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられる掲示物や行事風景を撮った写真をホールの壁に貼り楽しんでいる。食事中は音楽を流し穏やかに食事ができるように心掛けている		掲示物や飾りつけは職員と一緒にしている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールに2台のソファを設置し、自由に寛げる空間作りをしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご家族と話しあい、ご本人の使い慣れた道具や家具の持ち込みをお願いしている。		心地よく過ごせる配置や整理を心掛けている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室の窓の開閉や換気扇で常に換気をしている。エアコン・加湿器・サーキュレーターなどを使用し対応している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置などで安全に生活できている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入り口には植物の名前で表示してあり入居者様にわかりやすくなっている		
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前やベランダで森林浴・日光浴を一年を通して行っている		

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開所して三年が過ぎ、開所時からの職員も多く入居者様も安心して生活して頂いていると思います。外出や行事企画も増え楽しんで過ごせていると思います。

ご家族様にも毎月、入居者の様子が綴られた『桜の詩通信』や月次報告書を送っています。

協力医による往診や訪問看護師の導入で健康管理面での充実で職員も安定した介護サービスが提供できると思っています